第 195 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録

1．日時　2009 年 12 月 5 日(土)　13:30～16:00

2．場所　秋田市民交流プラザ 洋室 B（〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町 4 番 1 号)

3．出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

穂積委員長(愛工大)	○	磯嶋委員(住友電工)	×	岡下委員(昭和電線)	○
岡本委員(富士電機)	×	大嶽委員(代理) (日立製作所)	×	清水委員(東芝)	×
高橋委員(ビスキャス)	×	中坊委員(日新電機)	×	菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×
藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×	本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×
渡辺委員(日立電線)	×	岩本委員(東工大)	×	江原委員(東京都市大)	×
加藤委員(新潟大)	×	池田委員(新日本石油精製)	×	田中(康)幹事(東京都市大)	○
芦辺幹事(住友電工)	○	高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○

4．提出資料

番号なし	第 194 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-195-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-195-2	第 81 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 議事録
DEI-195-3	第 82 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 内容のまとめ
DEI-195-4-1	PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発技術調査専門委員会 第 1 回議事録
DEI-195-4-2	PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発技術調査専門委員会 第 2 回議事録
DEI-195-5	先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会(仮名) 設置趣意書(案)
DEI-195-6	平成 21 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定
DEI-195-7	調査専門委員会フォローシート(2009 年度)
DEI-195-8	誘電・絶縁材料研究会 テーマ「国際会議報告，学際分野紹介，絶縁一般」開催案内(案)
DEI-195-9	A 部門誌対策案
DEI-195-10	電気学会「優秀技術活動賞」、「特別活動賞」候補者推薦用紙
DEI-195-11	第 40 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告
DEI-195-12	第 29 回 誘電・絶縁材料に関する若手セミナー 開催報告

５. 議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 194 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の報告があり、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-195-1 により委員の所属等についての確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

5-3. 第 81 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会（今井幹事補佐）

第 81 回運営委員会の議事録が紹介された(資料 DEI-195-2)。

5-4. 第 81 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会（今井幹事補佐）

資料 DEI-195-3 に基づき、穂積委員長の代理として出席した今井幹事補佐より、第 82 回運営委員会の議事録が紹介された。

1) 技術委員会委員構成の変更
2) 研究経営会議報告 等
3) 個別委員会活動について
4) 基礎･材料･共通部門活動資金について
5) 調査専門委員会の解散と設置
6) 研究会・技術委員会活動等のフォロー
7) 共催・協賛のお願い
8) その他

5-5. PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発技術 調査専門委員議事録の報告（田中幹事）

DEI-195-4-1 及び DEI-195-4-2 に基づき、PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発技術 調査専門委員会 議事録(第１回，2 回)が報告された。第 3 回委員会は松江で実施し、議事録は作成中。第 4 回委員会と研究会は、2010 年 1 月に実施予定である。

5-6. 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会(仮名) 設置趣意書(案)（今井幹事補佐）

資料 DEI-195-5 に基づき、先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会(仮名) 設置趣意書が報告され、誤字・脱字の訂正の上、承認された。2010 年 2 月 18 日に予定されている第 83 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会に提出する。

5-7. 平成 21 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（田中幹事）

資料 DEI-195-6 に基づき、平成 21 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の更新及び確認を行った。

1) 12 月 4 日，5 日の秋田での研究会の発表件数は 10 件
2) 現在までの発表件数は 86 件（目標 110 件）
3) 2010 年 1 月 18 日に電線・ケーブル技術委員会と共催で研究会を開催予定
4) 2010 年 2 月 12 日にも電線・ケーブル技術委員会と共催で研究会を開催予定
5) 2010 年 3 月の全国大会シンポジウムでは、当委員会の有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイスセンサ応用調査専門員会が「高機能フィルムベースデバイスの開発に向けて」の題目でシンポジウムを実施予定。また、当技術委員会との関連が深いシンポジウムとして、「インバータサージ゛電圧における部分放電計測と絶縁劣化」(放電技術委員会)が実施される。
6) 2010 年度の主な行事について
   - CMD2010(9 月 6 日～11 日，芝浦工大)
   - 基礎・材料・共通部門大会(9 月 20 日～21 日，琉球大)
   - 電気電子絶縁材料システムシンポジウム(11 月中旬，秋田市民交流プラザ)
     (誘電・絶縁材料に関する若手セミナーは開催なし)

5-8. 調査専門委員会フォロー（田中幹事）

資料 DEI-195-7 に基づき、調査専門委員会活動の更新と確認を行った。

1) ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術 調査専門員会で、東京支部講習会を 11 月 25 日に実施。全て完了であるため、フォロー表から削除する。
2) 有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する調査専門委員会及び電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術の解散予定は 2010 年 3 月であるため、次回の基礎・材料・共通部門運営委員会に解散報告書を出せるようにフォローする(当技術委員会ではメール審議の予定)。

5-9. 誘電・絶縁材料研究会 テーマ「国際会議報告，学際分野紹介，絶縁一般」（田中幹事）

資料 DEI-195-8 に基づき、誘電・絶縁材料研究会の開催案が報告された。

1) 当日の午前中に当技術委員会を開催する
2) 学際分野の発表者を早急に決める
3) 一般発表については、電気電子絶縁材料システムシンポジウムの発表者の中から候補を選び、発表を依頼する。

5-10. 基礎・材料・共通部門誌対策案（穂積委員長）

資料 DEI-195-9 に基づき、毎年基礎・材料・共通部門から、各技術委員会の委員長宛に

「特集記事」執筆要請があるが、かなりの負担となるため、今後は電気電子絶縁材料システムシンポジウムのまとめが、「特集記事」となるようにしたいとの提案があった。

1) 各セッションの座長が発表 1 件について１～２行の概要と、全体のコメントを書く
2) ポスターセッションについては、コーディネーターが同様の作業を行う
3) SS セッションについては、幹事団が同様の作業を行う
4) 委員長は幹事団の協力を得て、分野の方向性に関するコメントをつけて全体を取り纏める

5-11. 電気学会「優秀技術活動賞」、「特別活動賞」候補者推薦（穂積委員長）

資料 DEI-195-10 に基づき、ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術 調査専門員会を候補として推薦したことが報告された。

5-12. 第 40 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告（高橋幹事補佐）

資料 DEI-195-11 に基づき、第 40 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウムの開催報告が紹介された。

5-13. 第 29 回 誘電・絶縁材料に関する若手セミナー 開催報告（高橋幹事補佐）

資料 DEI-195-12 に基づき、第 29 回 誘電・絶縁材料に関する若手セミナー 開催報告が紹介された。

６. 次回委員会

3 月に実施予定の誘電・絶縁材料研究会の前(午前)に行う。

以上